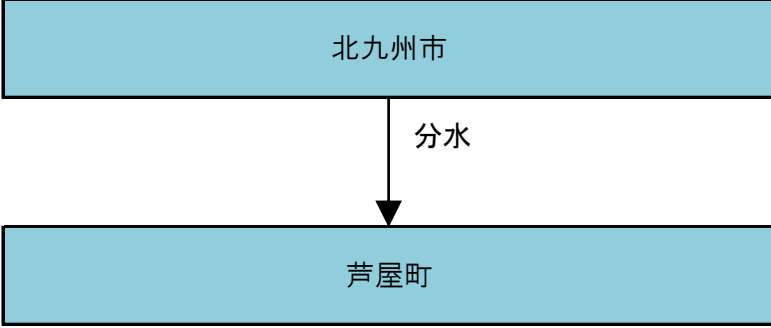
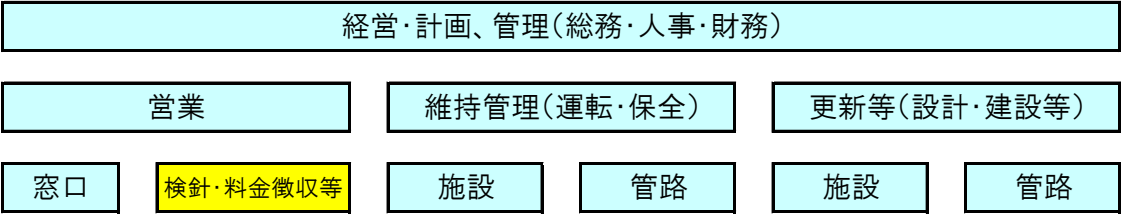


事業統合事例⑨ 北九州市と芦屋町の事業統合	
スキーム	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和61年：芦屋町水源の水量不足と水質悪化により、北九州市からの分水開始 平成9年には全量分水になる</li> <li>○平成18年12月：水道事業の事業統合に係る基本協定の締結</li> <li>○平成19年10月：事業統合</li> </ul>
広域連携（事業統合）のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分水の解消</li> </ul>
広域連携（事業統合）のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当資料なし</li> </ul>
業務手法（公民連携等）	公営を基本(北九州市) + ② 業務委託(個別・仕様委託) 民間委託(メーター検針、料金徴収、他)
対象業務（維持管理体制）	
浄水施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化(北九州市)</li> </ul>